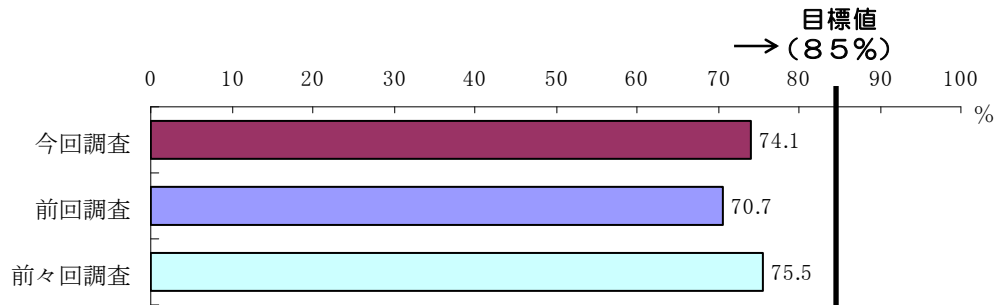


1. 総合的な分野

指標No. 7 「健康であると自覚している人の増加」
 (「非常に健康である」、「健康なほうである」と感じている人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 非常に健康である | 167 | 6.9 | 155 | 6.4 | 166 | 7.3 | — |
| 健康なほうである | 1,614 | 67.1 | 1,567 | 64.3 | 1,561 | 68.2 | |
| 合計値 | 1,781 | 74.1 | 1,722 | 70.7 | 1,727 | 75.5 | 85% |

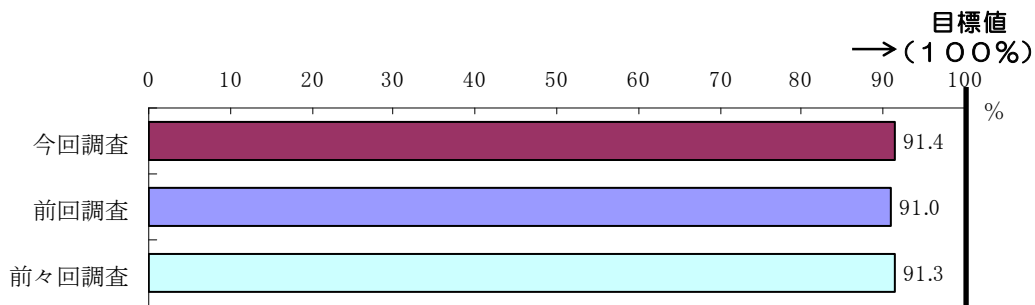
[指標比較結果]

指標 No. 7 『健康であると自覚している人の増加』について見たものである。
 ※該当の設問はAのQ 2 (6 ページ) を参照

『健康であると自覚している方』の割合は 74.1%で、前回に比べて 3.4 ポイント増加しているが、前々回に比べて若干下回り、市で設定の目標値 85%から見ると 10.9 ポイント下回っている。

1. 総合的な分野

指標No. 8 「健康のために何かしている人の増加」
 (「特に何もしていない」、「不明」の人以外の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-------------------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 栄養・食生活に気をつける | 1,523 | 63.3 | 1,534 | 62.9 | 1,421 | 62.1 | — |
| 適度な身体活動・運動をする | 1,189 | 49.4 | 1,161 | 47.6 | 1,059 | 46.3 | |
| 睡眠や休養を十分とる | 1,412 | 58.7 | 1,378 | 56.5 | 1,390 | 60.8 | |
| 飲酒をひかえる | 665 | 27.7 | 622 | 25.5 | 685 | 29.9 | |
| たばこを吸わない | 1,277 | 53.1 | 1,105 | 45.3 | 1,082 | 47.3 | |
| 規則正しい生活をする | 966 | 40.2 | 898 | 36.8 | 873 | 38.2 | |
| ストレス発散や気分転換をする | 1,019 | 42.4 | 1,117 | 45.8 | 1,032 | 45.1 | |
| 身近な人や仲間との交流を大切にする | 900 | 37.4 | 1,039 | 42.6 | 943 | 41.2 | |
| その他 | 115 | 4.8 | 77 | 3.2 | 134 | 5.9 | |
| 合計値 | 2,197 | 91.4 | 2,217 | 91.0 | 2,089 | 91.3 | 100% |

[指標比較結果]

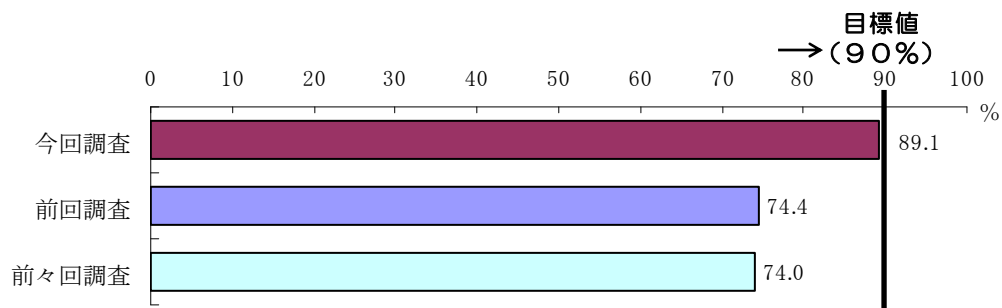
指標 No. 8 『健康のために何かしている人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 3 (8 ページ) を参照

『健康のために何かしている人』の割合(「特に何もしていない」と“不明”を除いた割合)は91.4%で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値100%から見ると8.6ポイント下回っている。

1. 総合的な分野

指標No. 9 「定期的に健康診断を受けている人の増加」
 (「受けている」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 受けている | 2,142 | 89.1 | 1,812 | 74.4 | 1,694 | 74.0 | 90% |

[指標比較結果]

指標 No. 9 『定期的に健康診断を受けている人の増加』について見たものである。

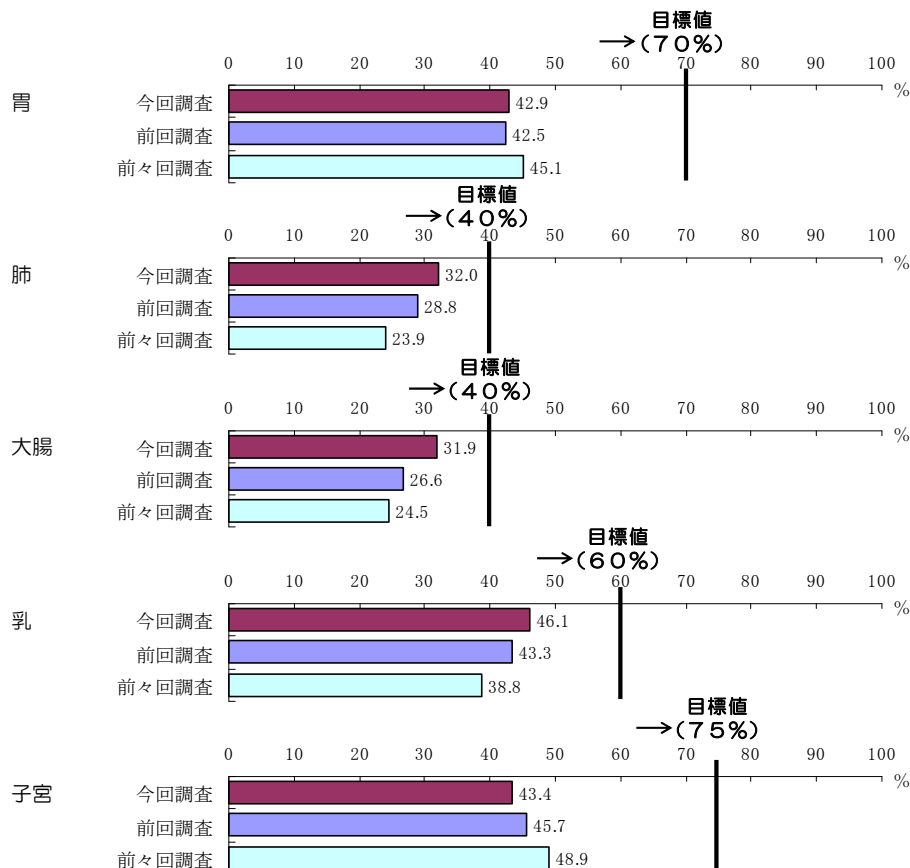
※該当の設問はAのQ 4 (12 ページ) を参照

『定期的に健康診断を受けている方』の割合は 89.1%で、前回に比べて 14.7 ポイント、前々回に比べて 15.1 ポイント増加しており、市が設定した目標値 90%に近くなっている。

1. 総合的な分野

指標 No. 10 「定期的にがん検診を受けている人の増加」

(「胃・肺・大腸・乳・子宮」の各がん検診を定期的に行っている 40 歳以上の人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 胃 | 757 | 42.9 | 737 | 42.5 | 708 | 45.1 | 70% |
| 肺 | 564 | 32.0 | 500 | 28.8 | 375 | 23.9 | 40% |
| 大腸 | 562 | 31.9 | 462 | 26.6 | 385 | 24.5 | 40% |
| 乳 | 443 | 46.1 | 418 | 43.3 | 340 | 38.8 | 60% |
| 子宮 | 417 | 43.4 | 441 | 45.7 | 428 | 48.9 | 75% |

[指標比較結果]

指標 No.10『定期的にがん検診を受けている人の増加』について見たものである。

※該当の設定はAのQ 5 (20 ページ) を参照

『胃』のがん検診を受けている方の割合は 42.9%で、前回に比べてごくわずかながら増加しているが、前々回に比べて 2.2 ポイント減少しており、市で設定の目標値 70%から見ても 27.1 ポイント下回っている。

『肺』のがん検診を受けている方の割合は 32.0%で、前回に比べて 3.2 ポイント、前々回に比べて 8.1 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 40%から見ると 8.0 ポイント下回っている。

『大腸』のがん検診を受けている方の割合は 31.9%で、前回に比べて 5.3 ポイント、前々回に比べて 7.4 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 40%から見ると 8.1 ポイント下回っている。

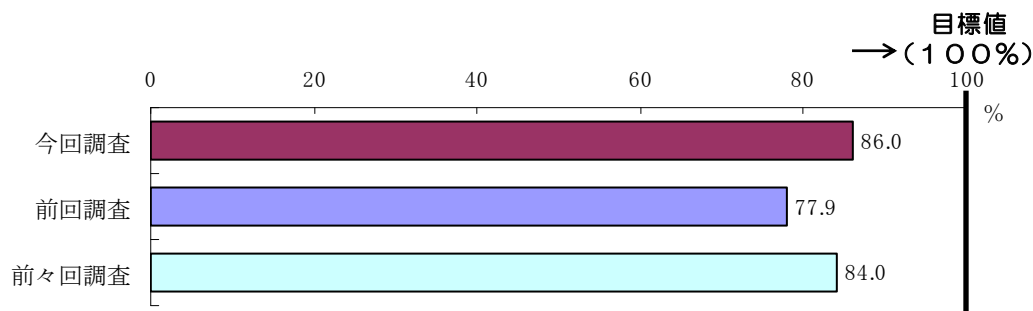
『乳』のがん検診を受けている方の割合は 46.1%で、当指標の対象となる部位の中では最も受診率が高く、前回に比べて 2.8 ポイント、前々回に比べて 7.3 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 60%から見ると 13.9 ポイント下回っている。

『子宮』のがん検診を受けている方の割合は 43.4%で、前回、前々回に比べてわずかずつ減少しており、市で設定の目標値 75%から見ると 31.6 ポイント下回っている。

1. 総合的な分野

指標No. 11 「健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った人の増加」

（「定期的に健康診断を受けている」人で、「健康診断の結果、医療機関等での治療が必要」と判断されたことのある人のうち、「すでに治療中だった」、「医療機関等に行った」人の割合）



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|------|------|------|------|-------|------|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| すでに治療中だった | 340 | 37.4 | - | - | - | - | - |
| 行った | 441 | 48.6 | 788 | 77.9 | 730 | 84.0 | |
| 合計値 | 781 | 86.0 | 788 | 77.9 | 730 | 84.0 | 100% |

※前回調査、前々回調査と選択項目が異なる。（「医療機関に行った」人の割合）

[指標比較結果]

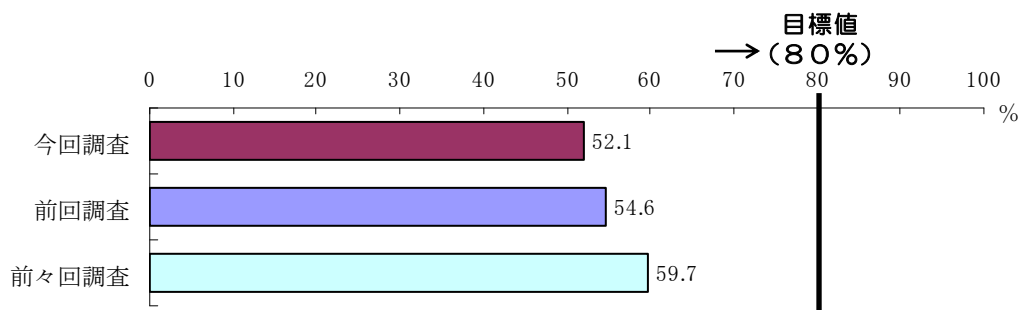
指標 No.11 『健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った人の増加』について見たものである。
※該当の設問はAのSQ4②（18 ページ）を参照

『健康診断の結果を踏まえて必要な治療等を行った方』の割合は 86.0%で、前回に比べて 8.1 ポイント、前々回に比べても 2.0 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 100%（全員受診）から見ると 14.0 ポイント下回っている。

1. 総合的な分野

指標No. 12 「健康や栄養に関する学習の場等に参加意欲のある人の増加」

(健康や栄養に関する学習の場や市民活動に、「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| ぜひ参加したい | 99 | 4.1 | 184 | 7.6 | 147 | 6.4 | — |
| できれば参加したい | 1,154 | 48.0 | 1,145 | 47.0 | 1,220 | 53.3 | |
| 合計値 | 1,253 | 52.1 | 1,329 | 54.6 | 1,367 | 59.7 | 80% |

[指標比較結果]

指標 No. 12『健康や栄養に関する学習の場等に参加意欲のある人の増加』を見たものである。

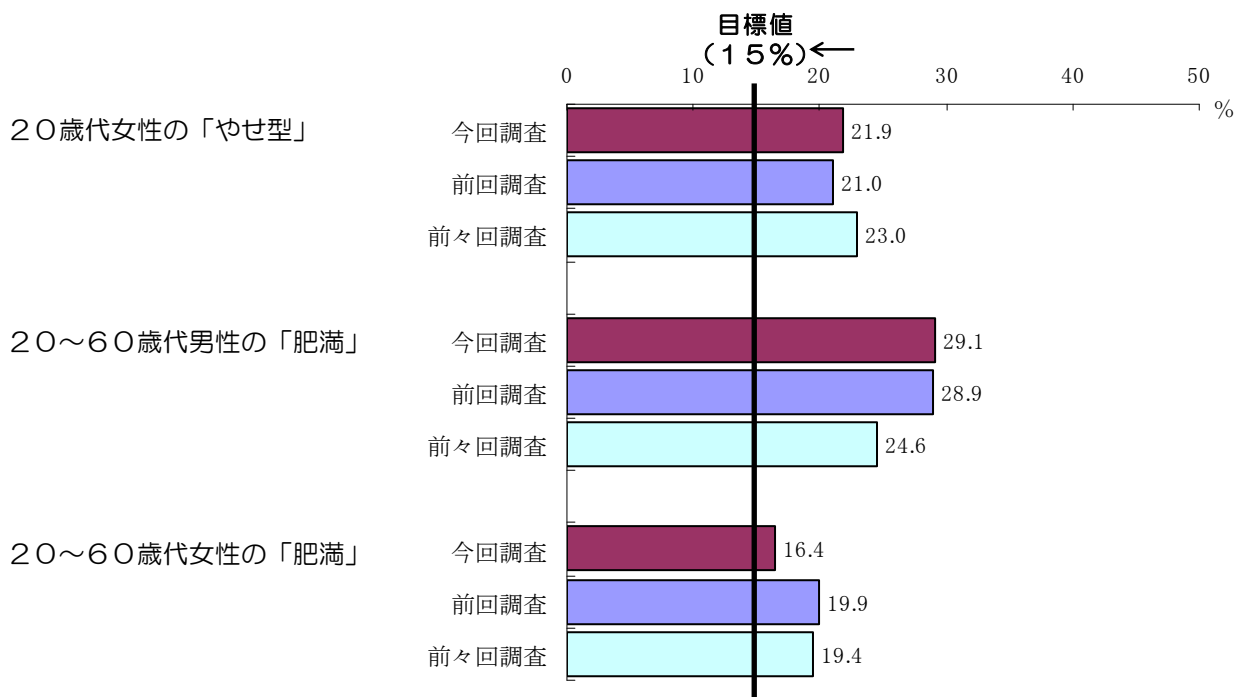
※該当の設問はBのQ11（74 ページ）を参照

『健康や栄養に関する学習の場等の参加意欲のある方』の割合（「ぜひ参加したい」＋「できれば参加したい」）は 52.1%で、前回に比べて 2.5 ポイント、前々回に比べて 7.6 ポイント減少しており、市で設定の目標値 80%から見ても 27.9 ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 19 「適正体重の範囲にある人の増加」

- 20 歳代女性の「やせ型」：BMI 値 18.5 未満の 20 歳代女性の割合
- 20～60 歳代男性の「肥満」：BMI 値 25 以上の 20～60 歳代男性の割合
- 40～60 歳代女性の「肥満」：BMI 値 25 以上の 40～60 歳代女性の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----------------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 20歳代女性の「やせ型」 | 33 | 21.9 | 35 | 21.0 | 52 | 23.0 | 15% |
| 20～60歳代男性の「肥満」 | 241 | 29.1 | 244 | 28.9 | 190 | 24.6 | 15% |
| 40～60歳代女性の「肥満」 | 109 | 16.4 | 137 | 19.9 | 135 | 19.4 | 15% |

[指標比較結果]

指標 No.19『適正体重の範囲にある人の増加』について見たものである
 ※該当の設問はAのQ6（22ページ）を参照

『20 歳代女性の「やせ型」』の方の割合は 21.9%で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値 15%から見て 6.9 ポイント上回っている。

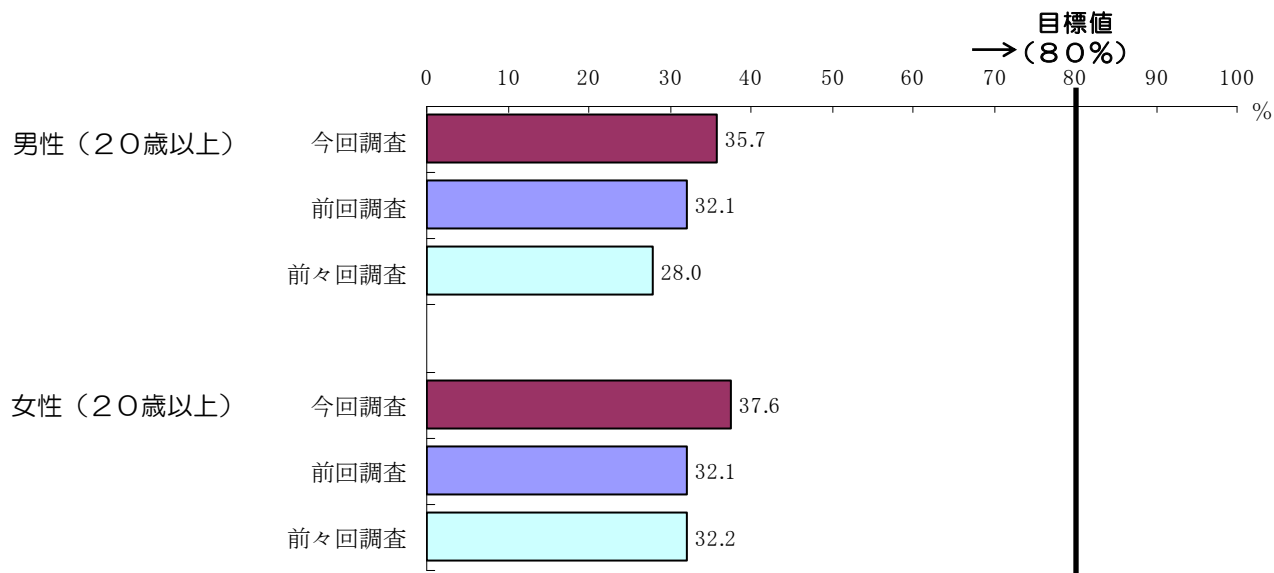
『20～60 歳代男性の「肥満」』の方の割合は 29.1%で、前回に比べてわずかに、前々回に比べて 4.5 ポイント増加しており、市で設定の目標値 15%から見ても倍近くとなっている。

『40～60 歳代女性の「肥満」』の方の割合は 16.4%で、前回に比べて 3.5 ポイント、前々回に比べて 3.0 ポイント減少しているが、市で設定の目標値 15%から見ると 1.4 ポイント上回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 21 「体重コントロールを実践している人の増加」

- 男性（20歳以上） 「実践している」人の割合
- 女性（20歳以上） 「実践している」人の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性(20歳以上) | 378 | 35.7 | 330 | 32.1 | 267 | 28.0 | 80% |
| 女性(20歳以上) | 502 | 37.6 | 447 | 32.1 | 427 | 32.2 | 80% |

[指標比較結果]

指標 No.21 『体重コントロールを実践している人の増加』について見たものである。

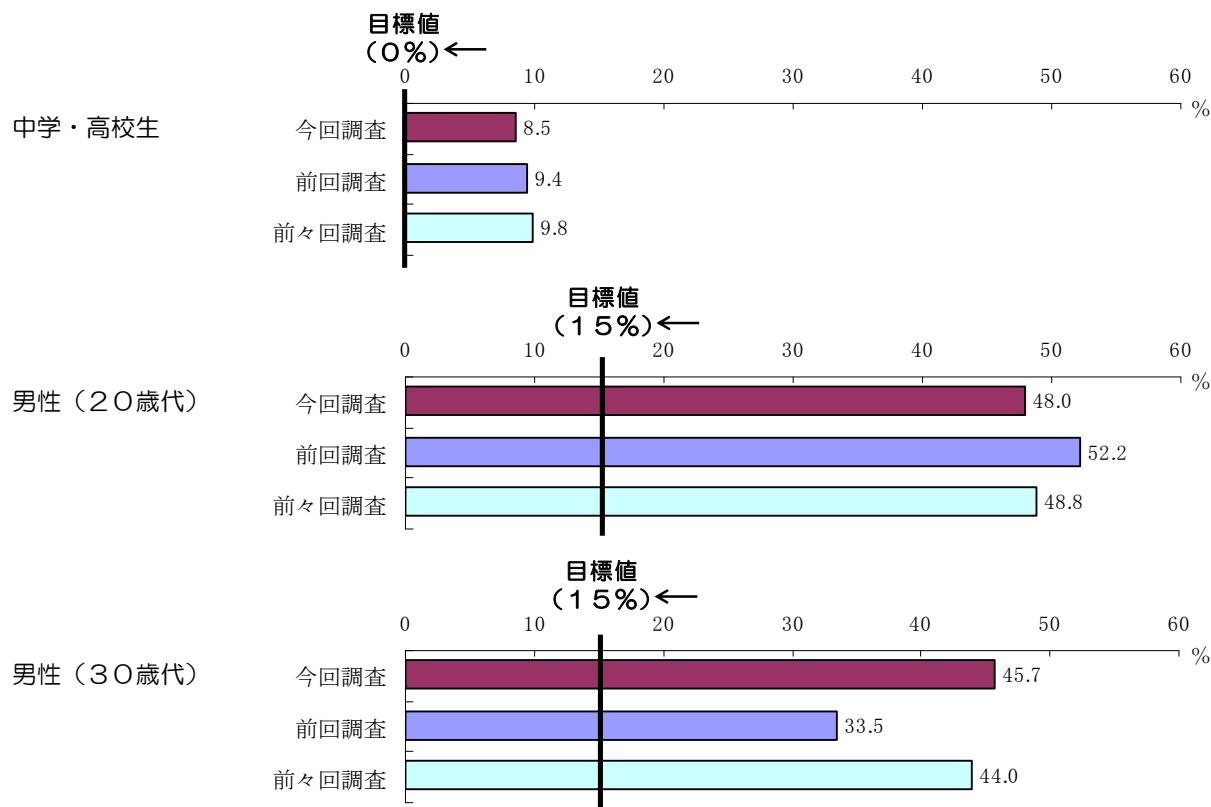
※該当の設問はAのQ 8（26 ページ）を参照

『体重コントロールを実践している方』の割合は、男性では35.7%、女性では37.6%で、共に前回、前々回に比べて増加しているが、市で設定の目標値80%から見ると半分以下となっている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 22 「朝食をとらない人の減少」

- 中学・高校生：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合
- 男性（20 歳代）：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合
- 男性（30 歳代）：朝食を「毎日食べている」（不明含む）人以外の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 中学・高校生 | 21 | 8.5 | 24 | 9.4 | 35 | 9.8 | 0% |
| 男性(20歳代) | 47 | 48.0 | 59 | 52.2 | 62 | 48.8 | 15% |
| 男性(30歳代) | 75 | 45.7 | 53 | 33.5 | 62 | 44.0 | 15% |

[指標比較結果]

指標 No.22『朝食をとらない人の減少』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 1（30 ページ）、Q 2（34 ページ）をそれぞれ参照

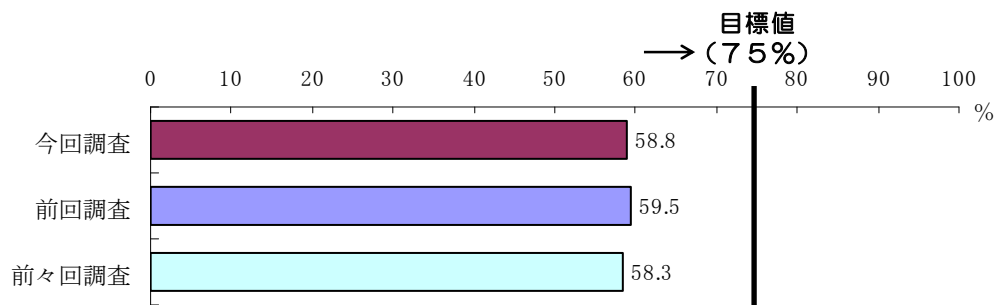
『中学・高校生』で朝食をとらない方の割合は 8.5%で、前回、前々回に比べてごくわずかながら減少している。

『男性（20 歳代）』で朝食をとらない方の割合は 48.0%で、前回に比べて 4.2 ポイント減少しているが、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値 15%から見ると 33.0 ポイントも上回っている。

『男性（30 歳代）』で朝食をとらない方の割合は 45.7%で、前回に比べて 12.2 ポイント、前々回に比べて 1.7 ポイント増加しており、市で設定の目標値 15%から見ると 3 倍以上も上回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 23 「1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする人の増加」
 (「毎日している」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 毎日している | 1,415 | 58.8 | 1,450 | 59.5 | 1,333 | 58.3 | 75% |

[指標比較結果]

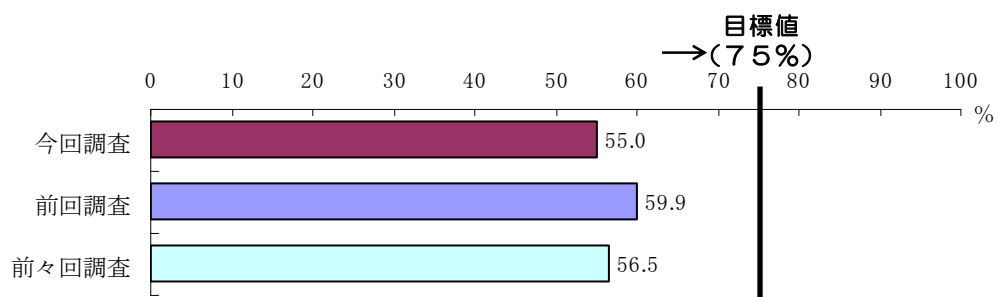
指標 No.23 『1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ3（36ページ）を参照

『1日最低1食は家族等2人以上でゆっくり時間をかけて食事をする方』の割合は58.8%で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値75%から見ると16.2ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 24 「緑黄色野菜を毎日食べる人の増加」
(「1日2回以上」、「1日1回程度」食べる人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1日2回以上 | 439 | 18.3 | 494 | 20.3 | 344 | 15.0 | — |
| 1日1回程度 | 883 | 36.7 | 965 | 39.6 | 950 | 41.5 | |
| 合計値 | 1,322 | 55.0 | 1,459 | 59.9 | 1,294 | 56.5 | 75% |

[指標比較結果]

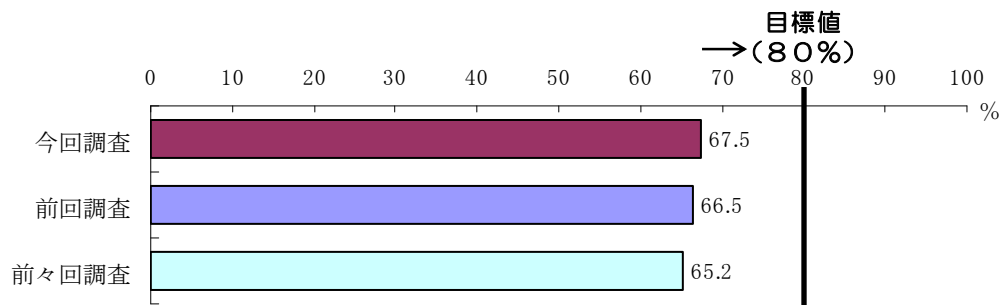
指標 No.24 『緑黄色野菜を毎日食べる人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 6(4) (54 ページ) を参照

『緑黄色野菜を毎日食べる方』の割合は **55.0%** で、前回に比べて **4.9** ポイント、前々回に比べて **1.5** ポイント減少しており、市で設定の目標値 **75%** から見ても **20.0** ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 25 「緑黄色野菜以外の野菜（その他の野菜）を毎日食べる人の増加」
（「1日2回以上」、「1日1回程度」食べる人の割合）



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1日2回以上 | 592 | 24.6 | 573 | 23.5 | 455 | 19.9 | — |
| 1日1回程度 | 1,031 | 42.9 | 1,049 | 43.0 | 1,036 | 45.3 | |
| 合計値 | 1,623 | 67.5 | 1,622 | 66.5 | 1,491 | 65.2 | 80% |

[指標比較結果]

指標 No.25『緑黄色野菜以外の野菜（その他の野菜）を毎日食べる人の増加』について見たものである。

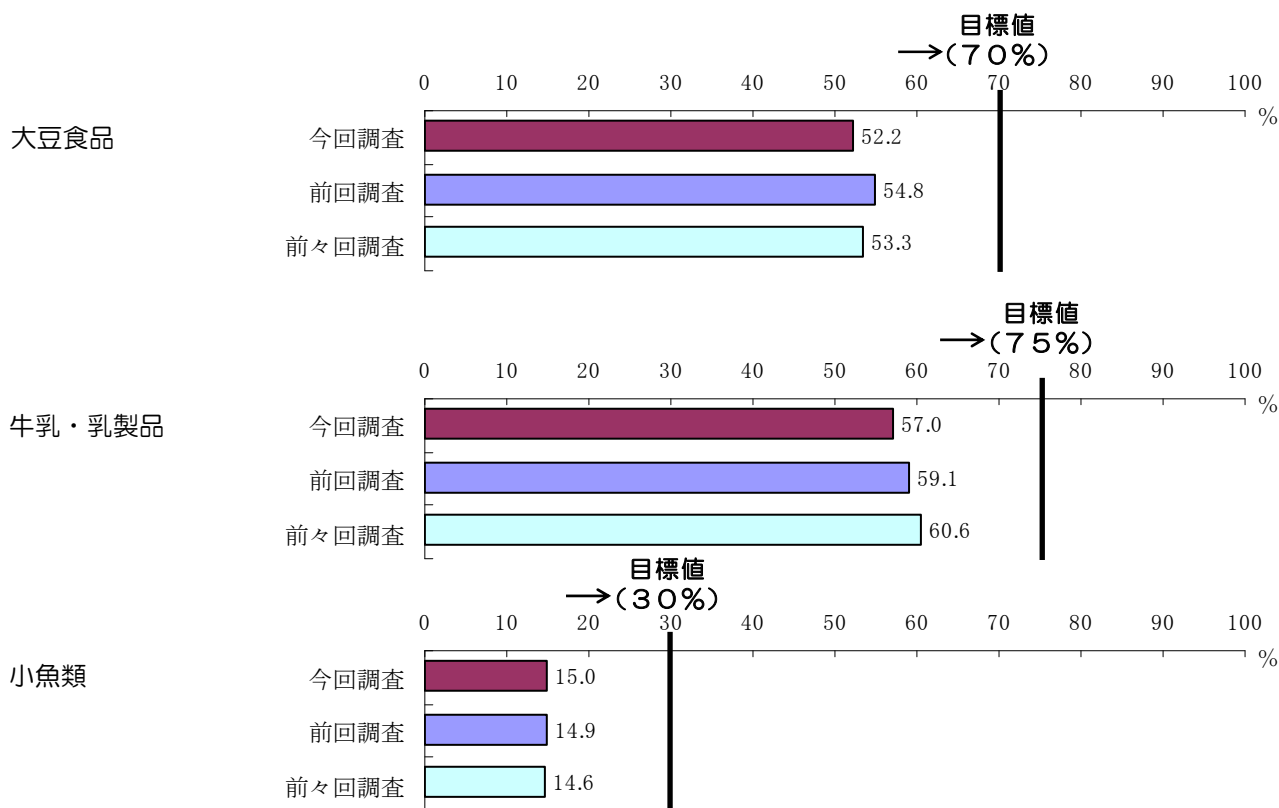
※該当の設問はBのQ 6(5) (56 ページ) を参照

『緑黄色野菜以外の野菜を食べる方』の割合は **67.5%** で、前回、前々回に比べてわずかながら増加しているが、市で設定の目標値 80%から見ると 12.5 ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 26 「毎日カルシウムに富む食品を食べる人の増加」

『大豆食品』、『牛乳・乳製品』、『小魚類』を「1日2回以上」、「1日1回程度」食べる人の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 大豆食品 | 1,255 | 52.2 | 1,335 | 54.8 | 1,220 | 53.3 | 70% |
| 牛乳・乳製品 | 1,370 | 57.0 | 1,441 | 59.1 | 1,387 | 60.6 | 75% |
| 小魚類 | 360 | 15.0 | 363 | 14.9 | 335 | 14.6 | 30% |

[指標比較結果]

指標 No.26 『毎日カルシウムに富む食品を食べる人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 6 (1) (大豆食品：48 ページ)、Q 6 (2) (牛乳・乳製品：50 ページ)、Q 6 (3) (小魚類：52 ページ) をそれぞれ参照

『大豆食品を毎日食べる方』の割合は **52.2%** で、前回と比べて **2.6** ポイント、前々回に比べて **1.1** ポイント減少しており、市で設定の目標値 **70%** から見ても **17.8** ポイント下回っている。

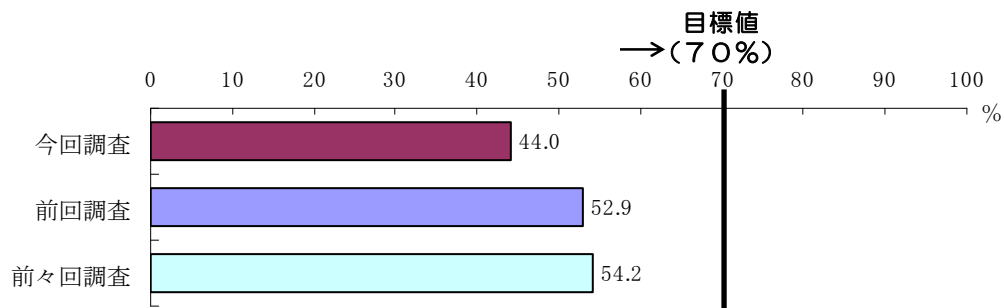
『牛乳・乳製品を毎日食べる方』の割合は **57.0%** で、前回と比べると **2.1** ポイント、前々回に比べて **3.6** ポイント減少しており、市で設定の目標値 **75%** から見ると **18** ポイント下回っている。

『小魚類を毎日食べる方』の割合は **15%** で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値 **30%** のちょうど半分となっている。

2. 栄養・食生活

指標No. 27 「毎日果物を食べる人の増加」

(「1日2回以上」、「1日1回程度」食べる人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1日2回以上 | 223 | 9.3 | 346 | 14.2 | 288 | 12.6 | — |
| 1日1回程度 | 836 | 34.8 | 942 | 38.7 | 951 | 41.6 | |
| 合計値 | 1,059 | 44.0 | 1,288 | 52.9 | 1,239 | 54.2 | 70% |

[指標比較結果]

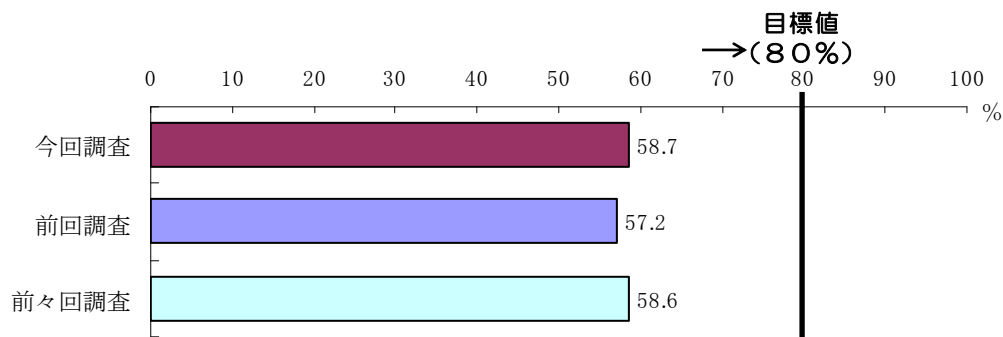
指標 No.27『毎日果物を食べる人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 6(6) (58 ページ) を参照

『毎日果物を食べる方』の割合は 44.0%で、前回と比べて 8.9 ポイント、前々回に比べて 10.2 ポイント減少しており、市で設定の目標値 70%から見ても 26.0 ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 33 「自分の適正体重を認識している人の増加」
(認識と実際の BMI 値が一致している人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 自分の適正体重を認識している人 | 1,411 | 58.7 | 1,394 | 57.2 | 1,341 | 58.6 | 80% |

[指標比較結果]

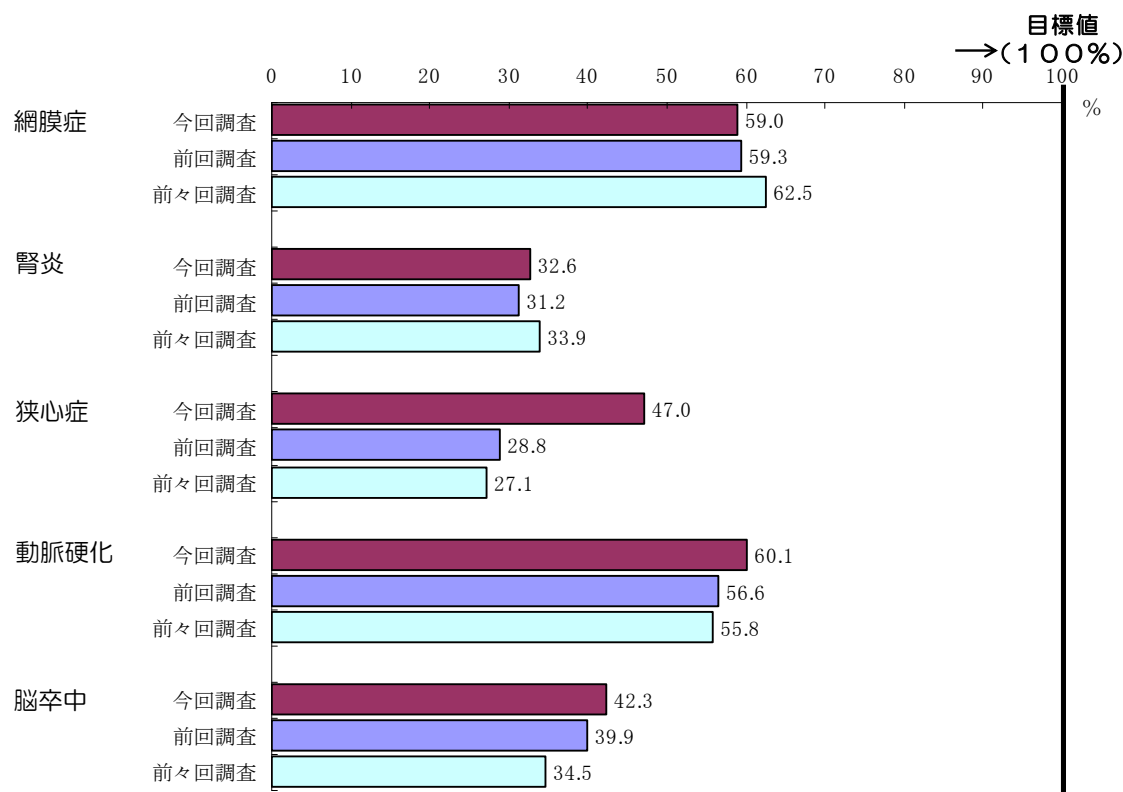
指標 No.33 『自分の適正体重を認識している人の増加』について見たものである。

※該当の設問はAのQ 7 (24 ページ) を参照

『自分の適正体重を認識している方』の割合は 58.7%で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値 80%から見ると 21.3 ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標 No. 34 「糖尿病が引き起こす合併症について正しい知識を有する人の増加」
 「網膜症」、「腎炎」、「狭心症」、「動脈硬化」、「脳卒中」について、糖尿病が引き起こす合併症として『当てはまる』とした人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 網膜症 | 1,420 | 59.0 | 1,444 | 59.3 | 1,429 | 62.5 | 100% |
| 腎炎 | 784 | 32.6 | 761 | 31.2 | 776 | 33.9 | 100% |
| 狭心症 | 1,130 | 47.0 | 702 | 28.8 | 619 | 27.1 | 100% |
| 動脈硬化 | 1,446 | 60.1 | 1,379 | 56.6 | 1,276 | 55.8 | 100% |
| 脳卒中 | 1,017 | 42.3 | 973 | 39.9 | 790 | 34.5 | 100% |

[指標比較結果]

指標 No.34『糖尿病が引き起こす合併症について正しい知識を有する人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 8（64 ページ）を参照

『網膜症』を挙げた方の割合は 59.0%で、前回に比べてほぼ変わらない数値だが、前々回に比べて 3.5 ポイント減少しており、市で設定の目標値 100%から見ると 41.0 ポイント下回っている。

『腎炎』を挙げた方の割合は 32.6%で前回に比べてごくわずかながら増加しているが、前々回に比べて 1.3 ポイント減少しており、市で設定の目標値 100%には遠く及ばない結果となっている。

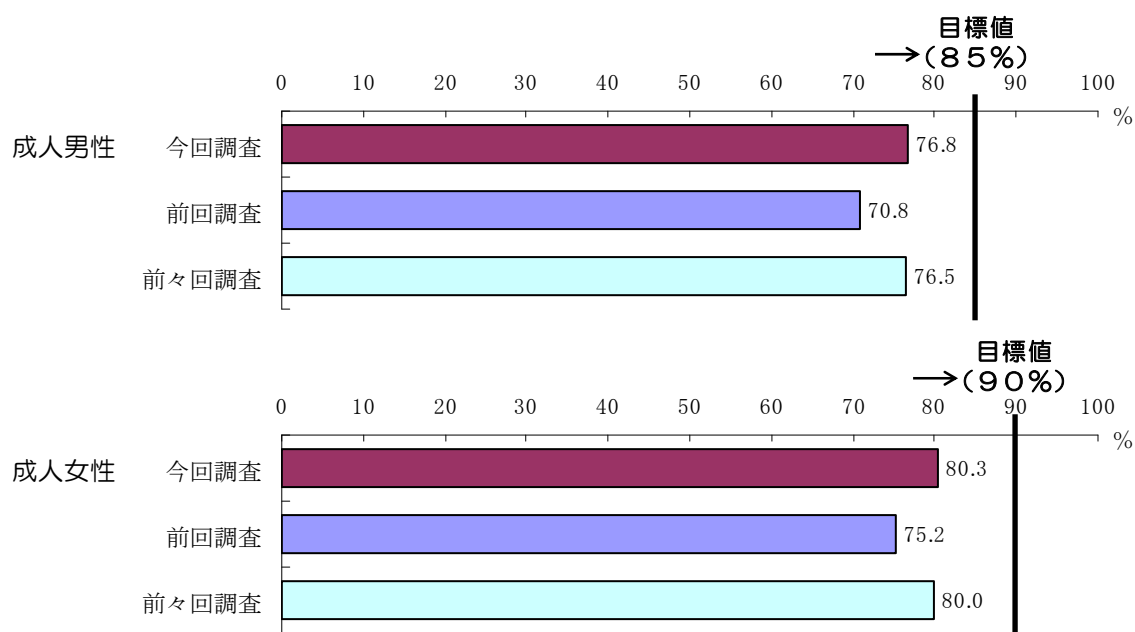
『狭心症』を挙げた方の割合は 47.0%で、前回に比べて 18.2 ポイント、前々回に比べて 19.9 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 100%から見ると約半分となっている。

『動脈硬化』を挙げた方の割合は 60.1%で、前回に比べて 3.5 ポイント、前々回に比べて 4.3 ポイント増加しており、当指標における該当症例の中では最も高い割合であるが、それでも市で設定の目標値 100%から見ると 39.9 ポイント下回っている。

『脳卒中』を挙げた方の割合は 42.3%で、前回に比べて 2.4 ポイント、前々回に比べて 7.8 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 100%から見ると大きく下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 35 「自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加」
 (「知っている」、「だいたい知っている」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 成人男性 | 814 | 76.8 | 727 | 70.8 | 729 | 76.5 | 85% |
| 成人女性 | 1,073 | 80.3 | 1,047 | 75.2 | 1,062 | 80.0 | 90% |

[指標比較結果]

指標 No.35『自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加』について、成人男性と成人女性の別に見たものである。

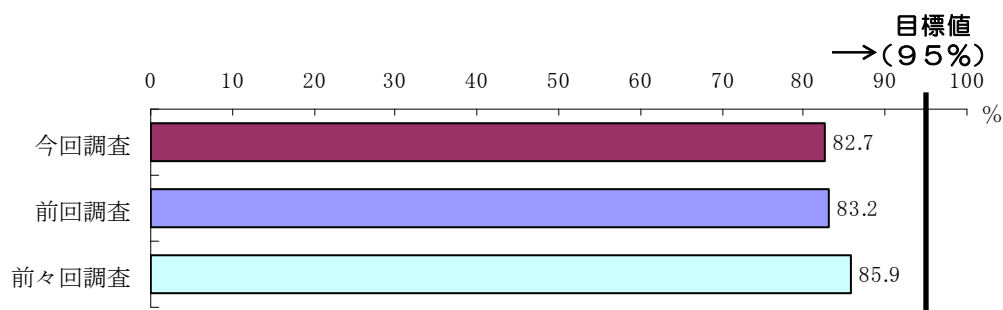
※該当の設問はBのQ 7 (60 ページ) を参照

『成人男性』での割合は 76.8%で、前回に比べて 6.0 ポイント増加しているが、前々回とほぼおなじ数値となっており、市で設定の目標値 85%から見ると 8.2 ポイント下回っている。

『成人女性』での割合は 80.3%で、前回に比べて 5.1 ポイント増加しているが、前々回とほぼおなじ数値となっており、目標値 90%から見ると 9.7 ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 36 「栄養のバランスに気をつけている人の増加」
 (「気をつけている」、「少し気をつけている」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 気をつけている | 935 | 38.9 | 957 | 39.3 | 992 | 43.4 | — |
| 少し気をつけている | 1,055 | 43.9 | 1,070 | 43.9 | 972 | 42.5 | |
| 合計値 | 1,990 | 82.7 | 2,027 | 83.2 | 1,964 | 85.9 | |
| | | | | | | | 95% |

[指標比較結果]

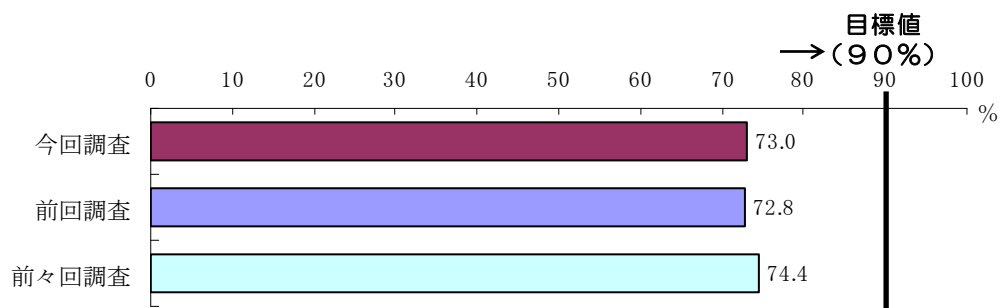
指標 No.36『栄養のバランスに気をつけている人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ 4 (40 ページ) を参照

『栄養のバランスに気を付けている方』の割合は82.7%で、前回、前々回に比べてわずかつ減少しており、市で設定の目標値95%から見ると12.3ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 37 「薄味に気をつけている人の増加」
 （「気をつけている」、「少し気をつけている」人の割合）



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 気をつけている | 778 | 32.3 | 826 | 33.9 | 795 | 34.7 | — |
| 少し気をつけている | 978 | 40.7 | 949 | 38.9 | 909 | 39.7 | |
| 合計値 | 1,756 | 73.0 | 1,775 | 72.8 | 1,704 | 74.4 | 90% |

【指標比較結果】

指標 No.37 『薄味に気をつけている人の増加』について見たものである。

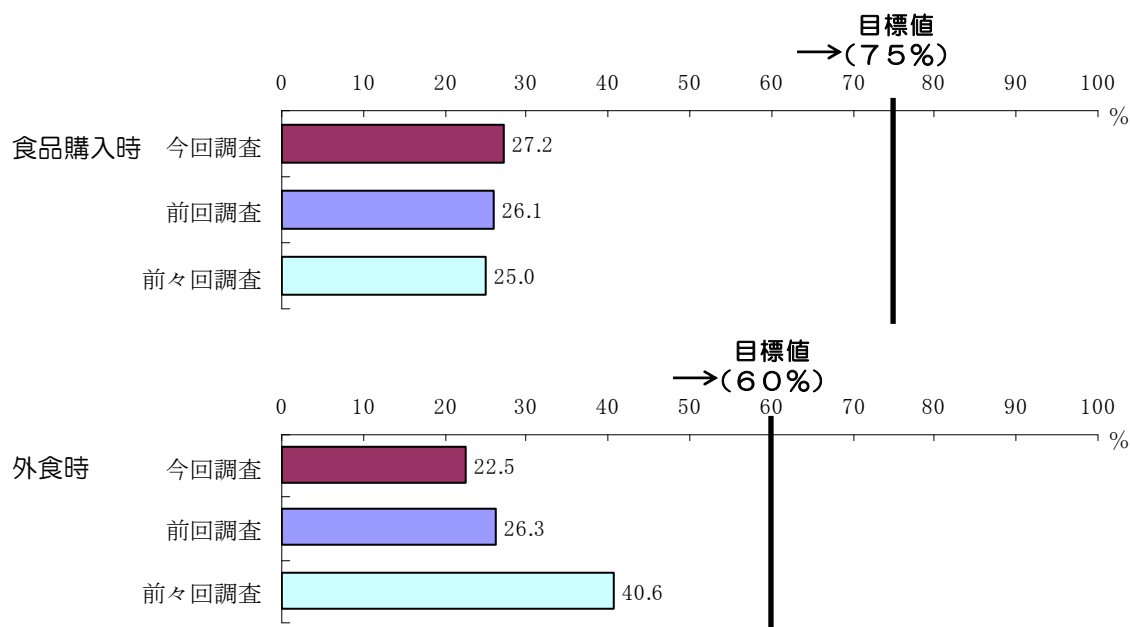
※該当の設問はBのQ 5（44 ページ）を参照

『薄味に気をつけている方』の割合は **73.0%** で、前回、前々回とほぼ同じ数値となっており、市で設定の目標値 **90%** から見ると **17.0** ポイント下回っている。

2. 栄養・食生活

指標No. 38 「外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の増加」

- 食品購入時：「必ず参考にする」、「参考にすることが多い」人の割合
- 外食時：レストラン等のメニューに栄養成分が表示されている場合、「必ず参考にする」、「参考にすることが多い」人の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 食品購入時 | 653 | 27.2 | 636 | 26.1 | 573 | 25.0 | 75% |
| 外食時 | 540 | 22.5 | 642 | 26.3 | 347 | 40.6 | 60% |

※「外食時」については、今回調査、前回調査と前々回調査時では質問形式が異なるため単純に比較はできない。

[指標比較結果]

指標 No.38 『外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の増加』について見たものである。

※該当の設問はBのQ9（66ページ）、Q10（70ページ）をそれぞれ参照

『食品購入時に栄養成分表示を参考にする方』の割合は27.2%で、前回、前々回に比べてわずかながら増加しているが、市で設定の目標値75%から見ると1／3程度である。

『外食時に栄養成分表示を参考にする方』の割合は22.5%で、前回に比べて3.8ポイント減少しており、市で設定の目標値60%から見ると遠く及ばない結果となっている。

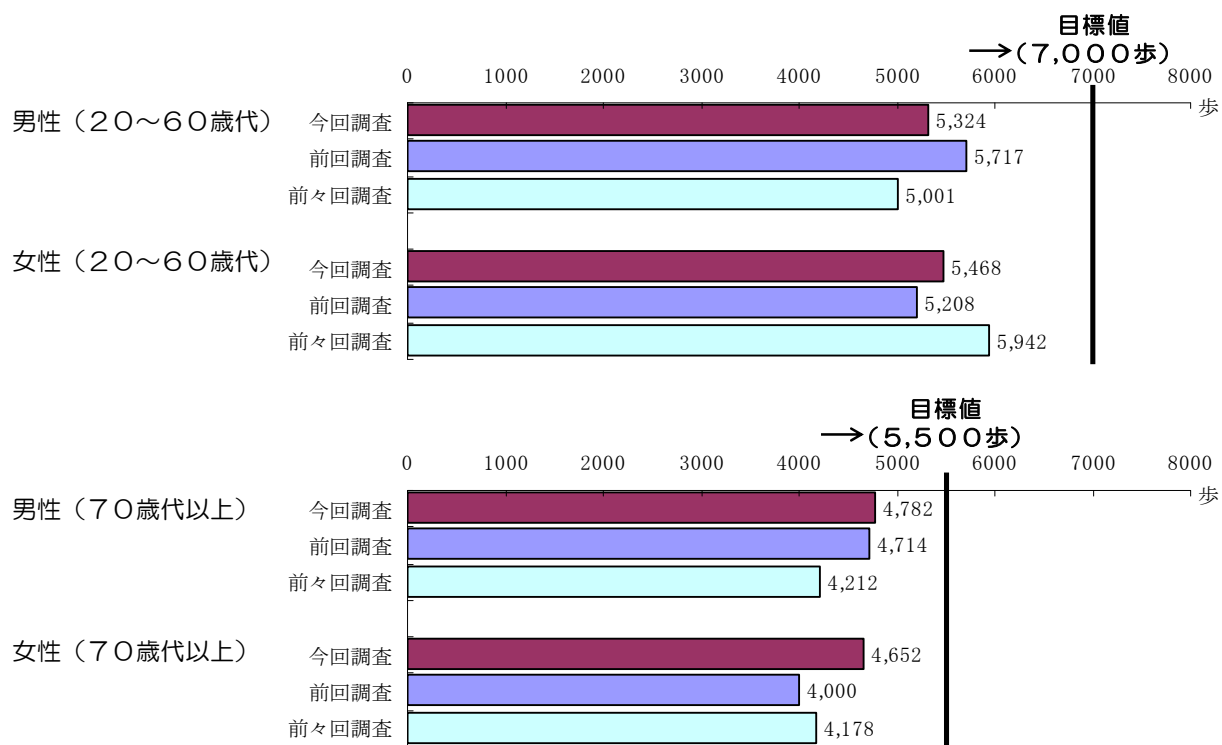
3. 身体運動・運動

指標No. 41 「日常生活における歩数の増加」

●男性（20～60 歳代） ●女性（20～60 歳代）

●男性（70 歳代以上） ●女性（70 歳代以上）

歩数計使用者、非使用者とを分けて聞き、非使用者については距離数と歩幅を聞き、歩数を推計したもの2者の平均値を足して2分したもの



| 分類 | 今回調査 | 前回調査 | 前々回調査 | 目標値 |
|-------------|-------|-------|-------|--------|
| | 歩数 | 歩数 | 歩数 | |
| 男性(20～60歳代) | 5,324 | 5,717 | 5,001 | 7,000歩 |
| 女性(20～60歳代) | 5,468 | 5,208 | 5,942 | 7,000歩 |
| 男性(70歳代以上) | 4,782 | 4,714 | 4,212 | 5,500歩 |
| 女性(70歳代以上) | 4,652 | 4,000 | 4,178 | 5,500歩 |

[指標比較結果]

指標 No.41 『日常生活における歩数の増加』について見たものである。

※該当の設問はDのQ 1 ①（94 ページ）Q 1 ②（96 ページ）をそれぞれ参照

『男性 20～60 歳代の歩数』は 5,324 歩で、前回に比べて 393 歩減少、前々回に比べて 323 歩増加しており、市で設定の目標値 7,000 歩から見ると 1,676 歩下回っている。

『女性 20～60 歳代の歩数』は 5,468 歩で、前回に比べて 260 歩増加、前々回に比べて 474 歩減少しており、目標値 7,000 歩から見ると 1,532 歩下回っている。

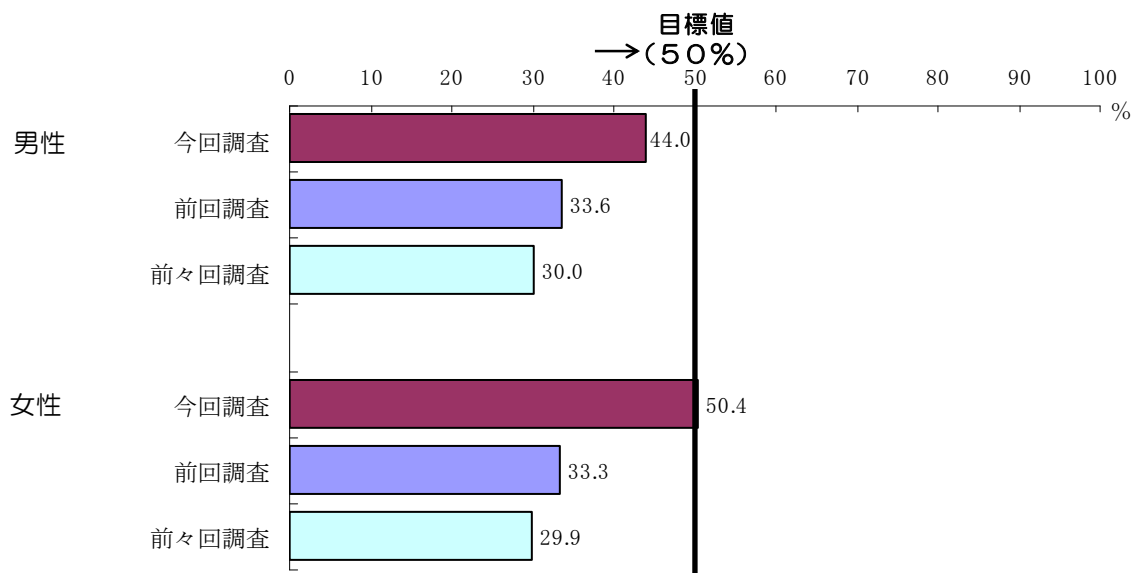
『男性 70 歳代以上の歩数』は 4,782 歩で、前回に比べて 68 歩、前々回に比べて 570 歩増加しているが、目標値 5,500 歩から見ると 718 歩下回っている。

『女性 70 歳代以上の歩数』は 4,652 歩で、前回と比べて 652 歩、前々回に比べて 474 歩増加しているが、目標値 5,500 歩から見ると 848 歩下回っている。

3. 身体運動・運動

指標No. 42 「運動習慣者の増加」

(1日30分以上の運動を「毎日している」、「週に2回以上している」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性 | 466 | 44.0 | 345 | 33.6 | 286 | 30.0 | 50% |
| 女性 | 673 | 50.4 | 464 | 33.3 | 397 | 29.9 | 50% |

[指標比較結果]

指標 No.42『運動習慣者の増加』について見たものである。

※該当の設問はDのQ3 (100 ページ) を参照

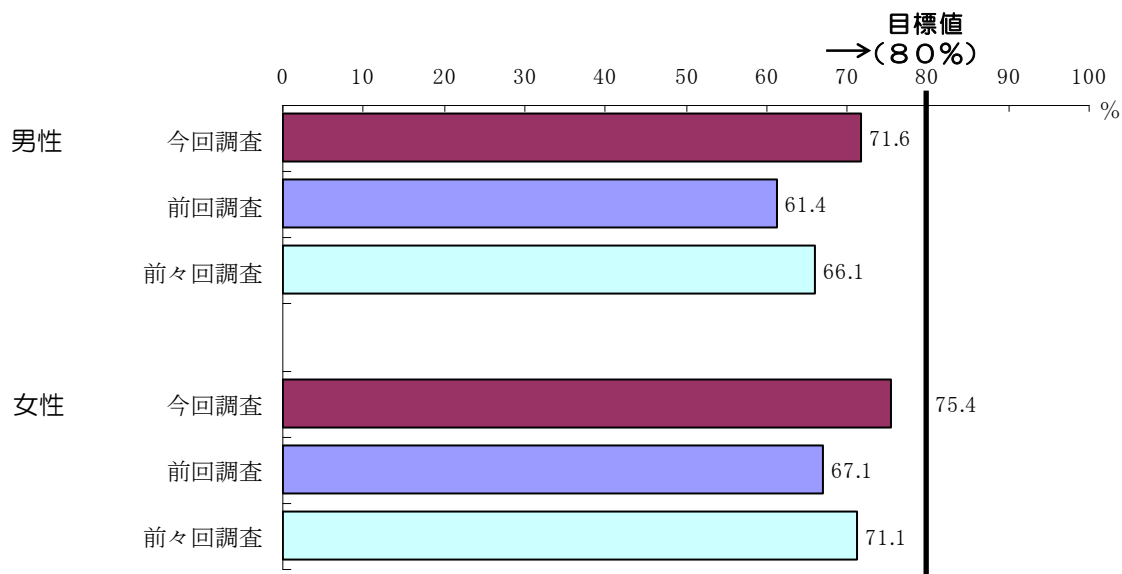
『男性での運動習慣者』の割合は 44.0%で、前回と比べて 10.4 ポイント、前々回に比べて 14.0 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 50%から見ると 6.0 ポイント下回っている。

『女性での運動習慣者』の割合は 50.4%で、前回に比べて 17.1 ポイント、前々回に比べて 20.5 ポイント増加しており、目標値 50%をわずかながら上回った。

3. 身体運動・運動

指標No. 44 「意識的に運動を心がけている人の増加」

車でなく歩く、エレベーターは使わずに階段を使うといったようなことを「いつも意識して実践している」、「ときどき意識している」人の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----|-------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性 | 759 | 71.6 | 631 | 61.4 | 630 | 66.1 | 80% |
| 女性 | 1,008 | 75.4 | 935 | 67.1 | 942 | 71.1 | 80% |

[指標比較結果]

指標 No.44 『意識的に運動を心がけている人の増加』について見たものである。

※該当の設問はDのQ 2（98 ページ）を参照

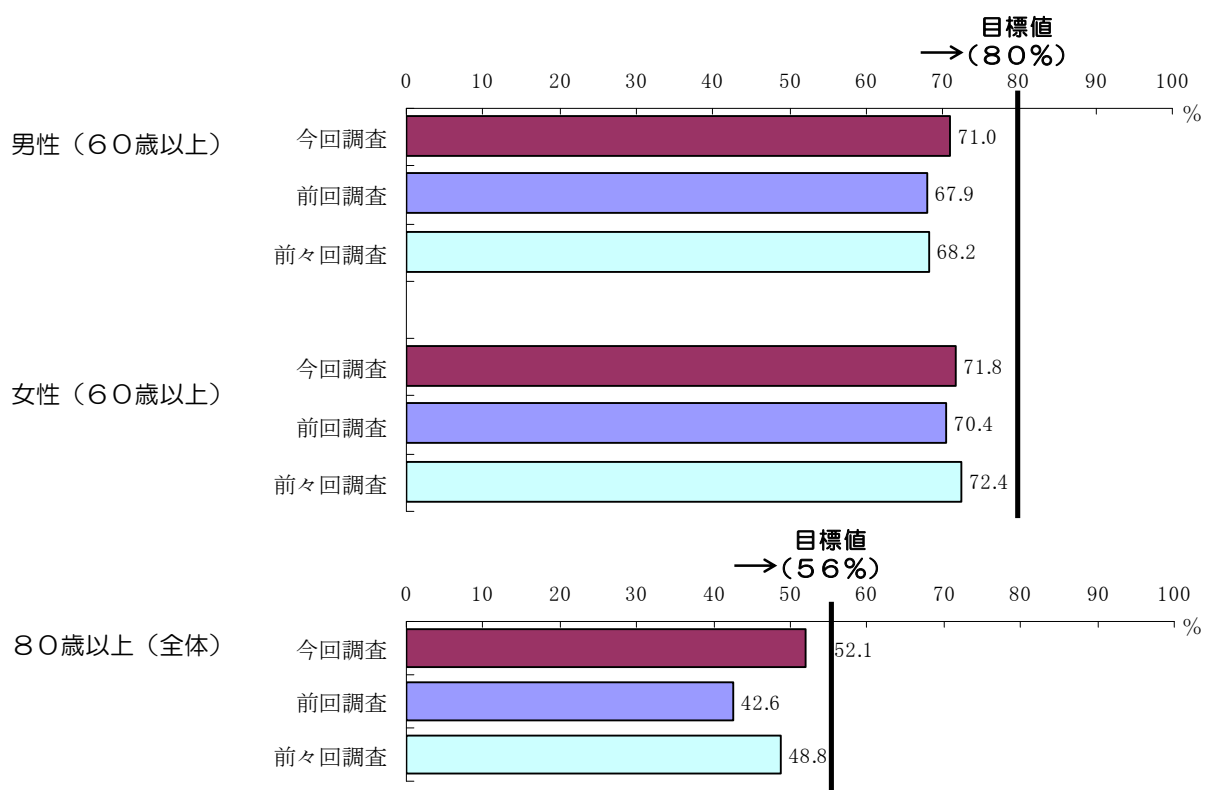
『男性で意識的に運動を心がけている方』の割合は 71.6%で、前回に比べて 10.2 ポイント、前々回に比べて 5.5 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 80%から見ると 8.4 ポイント下回っている。

『女性で意識的に運動を心がけている方』の割合は、男性より多い 75.4%であり、前回と比べて 8.3 ポイント、前々回に比べて 4.3 ポイント増加しているが、目標値 80%から見ると 4.6 ポイント下回っている。

男女共に、割合は高くなっており、目標値 80%までの差が縮まっている。

3. 身体運動・運動

指標No. 45 「外出について積極的な態度を持つ高齢者の増加」
(「毎日する」、「週3回以上は外出する」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性(60歳以上) | 340 | 71.0 | 260 | 67.9 | 234 | 68.2 | 80% |
| 女性(60歳以上) | 390 | 71.8 | 362 | 70.4 | 281 | 72.4 | 80% |
| 80歳以上(全体) | 86 | 52.1 | 60 | 42.6 | 41 | 48.8 | 56% |

[指標比較結果]

指標 No.45『外出について積極的な態度を持つ高齢者の増加』を見たものである。
※該当の設問はDのQ 4 (104 ページ) を参照

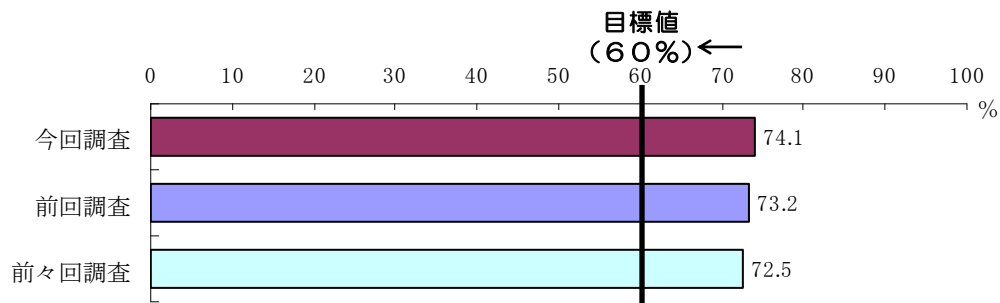
『男性 60 歳以上で外出について積極的な態度を持つ方』の割合は 71.0%で、前回に比べて 3.1 ポイント、前々回に比べて 2.8 ポイント増加しているが、市で設定の目標値 80%から見ると 9.0 ポイント下回っている。

『女性 60 歳以上で外出について積極的な態度を持つ方』の割合は 71.8%で、前回に比べてごくわずかながら増加しているが、前々回に比べてごくわずかながら減少しており、目標値 80%から見ると 8.2 ポイント下回っている。

『80 歳以上 (全体) で外出について積極的な態度を持つ方』の割合は 52.1%で、前回と比べると 9.5 ポイント、前々回に比べて 3.3 ポイント増加しており、目標値 56%から見ると 3.9 ポイントに差が縮まっている。

4. 休養・こころ

指標No. 47 「ストレスを感じた人の減少」
 (「大いに感じた」、「多少感じた」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 大いに感じた | 759 | 31.6 | 688 | 28.2 | 674 | 29.5 | — |
| 多少感じた | 1,022 | 42.5 | 1,096 | 45.0 | 984 | 43.0 | |
| 合計値 | 1,781 | 74.1 | 1,784 | 73.2 | 1,658 | 72.5 | 60% |

[指標比較結果]

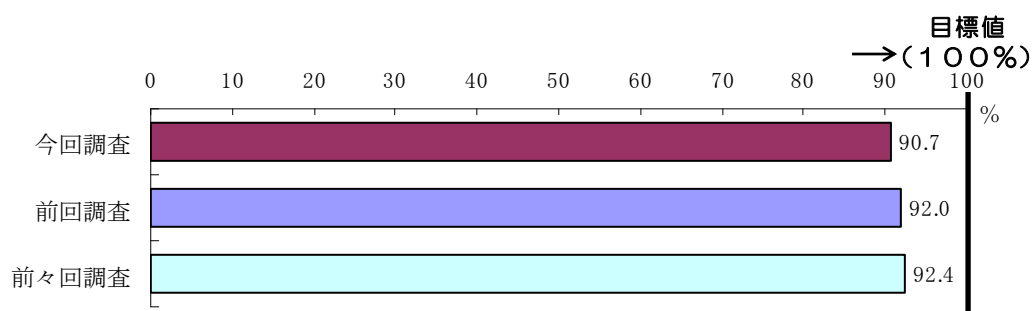
指標 No.47『ストレスを感じた人の減少』について見たものである。

※該当の設問はEのQ 1 (106 ページ) を参照

『ストレスを感じた方』の割合は 74.1%で、前回、前々回に比べてわずかながら増加しており、市で設定の目標値 60%から見ても 14.1 ポイント上回っている。

4. 休養・こころ

指標No. 48 「ストレス解消法を持つ人の増加」
(ストレス解消法が「特にない」、「不明」の人以外の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-------------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| ストレス解消法を持つ人 | 2,181 | 90.7 | 2,242 | 92.0 | 2,114 | 92.4 | 100% |

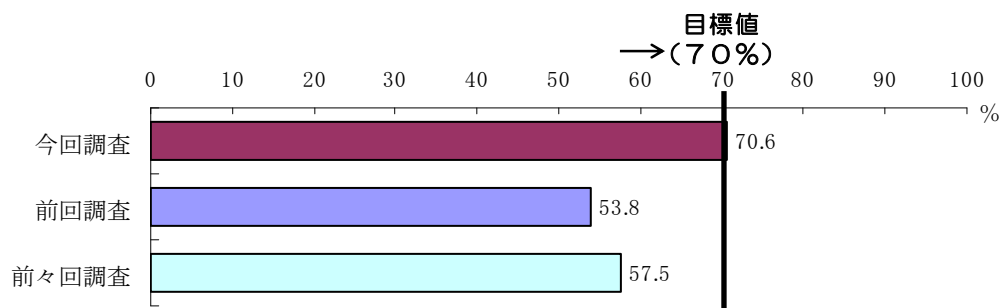
[指標比較結果]

指標 No.48『ストレス解消法を持つ人の増加』について見たものである。
※該当の設問はEのQ 2（110 ページ）を参照

『ストレス解消法を持つ方』の割合は 90.7%で、前回、前々回に比べてわずかながら減少しており、市で設定の目標値 100%から見ても 9.3 ポイント下回っている。

4. 休養・こころ

指標No. 49 「自然との触れ合いを楽しむ人の増加」
 (「頻繁に楽しんでいる」、「ときどき楽しんでいる」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|------------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 頻繁に楽しんでいる | 305 | 12.7 | 160 | 6.6 | 195 | 8.5 | — |
| ときどき楽しんでいる | 1,393 | 57.9 | 1,151 | 47.2 | 1,122 | 49.0 | |
| 合計値 | 1,698 | 70.6 | 1,311 | 53.8 | 1,317 | 57.5 | 70% |

[指標比較結果]

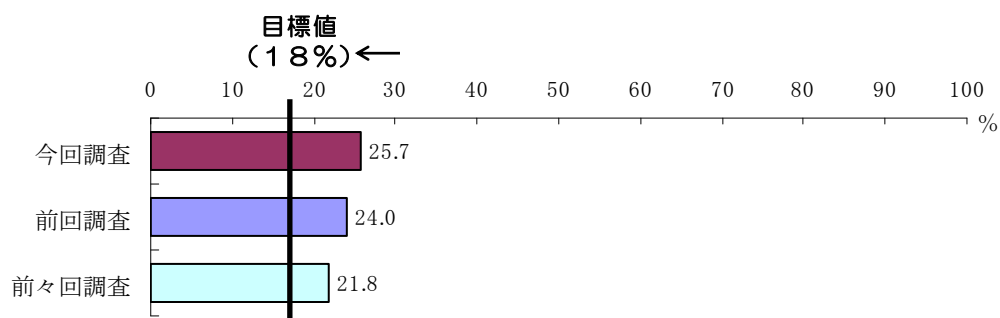
指標 No.49『自然との触れ合いを楽しむ人の増加』について見たものである。

※該当の設問はEのQ3（112 ページ）を参照

『自然との触れ合いを楽しむ方』の割合は **70.6%**で、前回に比べて **16.8** ポイント、前々回に比べて **13.1** ポイント増加しており、市で設定の目標値 **70%**をわずかながら上回った。

4. 休養・こころ

指標 No. 50 「睡眠による休養を十分にとれていない人の減少」
(熟睡感が「あまりない」、「全くない」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| あまりない | 569 | 23.7 | 535 | 22.0 | 460 | 20.1 | — |
| 全くない | 50 | 2.1 | 49 | 2.0 | 40 | 1.7 | |
| 合計値 | 619 | 25.7 | 584 | 24.0 | 500 | 21.8 | |

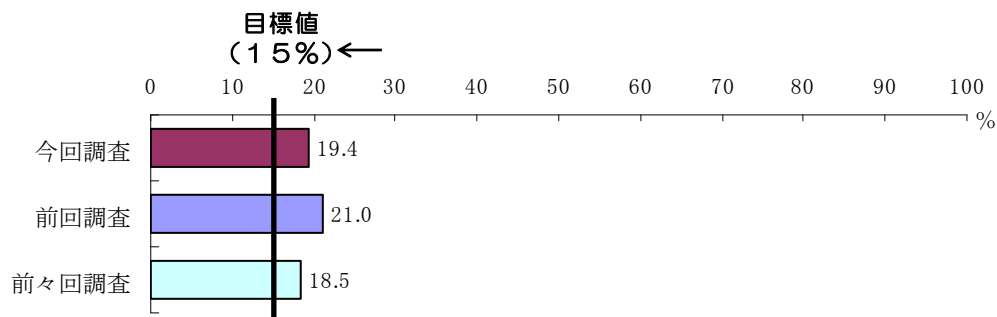
[指標比較結果]

指標 No.50『睡眠による休養を十分にとれていない人の減少』について見たものである。
※該当の設問はEのQ 4 (114 ページ) を参照

『睡眠による休養を十分にとれていない方』の割合は **25.7%** で、前回に比べて **1.7 ポイント**、前々回に比べて **3.9 ポイント** 増加しており、市で設定の目標値 **18%** から見ても **7.7 ポイント** 上回っている。

4. 休養・こころ

指標No. 51 「睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少」
 (「いつも使用している」、「ときどき使用している」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|------------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| いつも使用している | 205 | 8.5 | 239 | 9.8 | 156 | 6.8 | — |
| ときどき使用している | 262 | 10.9 | 274 | 11.2 | 267 | 11.7 | |
| 合計値 | 467 | 19.4 | 513 | 21.0 | 423 | 18.5 | 15% |

[指標比較結果]

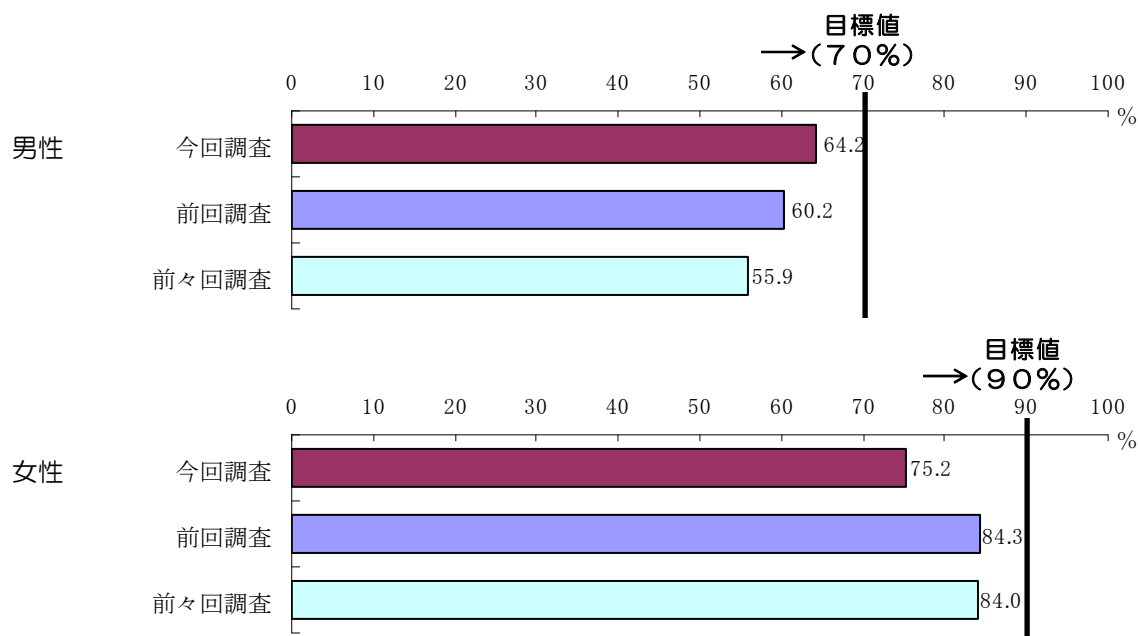
指標 No.51『睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少』について見たものである。

※該当の設問はEのQ 5（118 ページ）を参照

『睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある方』の割合は 19.4%で、前回に比べて 1.6 ポイント減少しているが、前々回に比べて 0.9 ポイント増加しており、市で設定の目標値 15% から見ても 4.4 ポイント上回っている。

5. たばこ

指標No. 70 「たばこを吸わない人の増加」(非喫煙率)
(「吸わない」、「以前は吸っていたがやめた」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性 | 681 | 64.2 | 619 | 60.2 | 533 | 55.9 | 70% |
| 女性 | 1,005 | 75.2 | 1,174 | 84.3 | 1,113 | 84.0 | 90% |

[指標比較結果]

指標 No.70『たばこを吸わない人の増加』について見たものである。

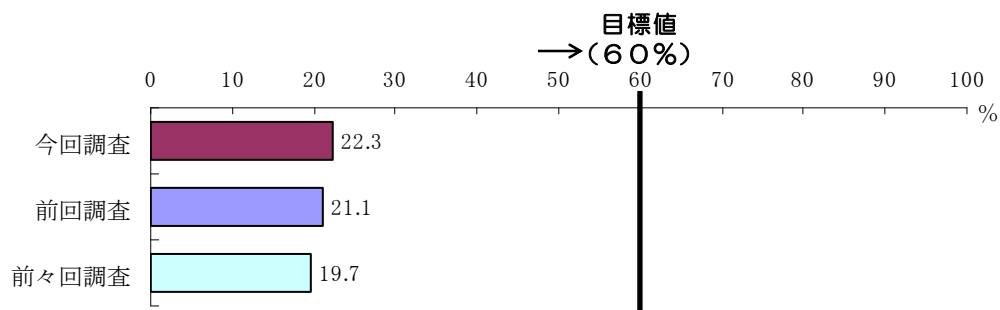
※該当の設問はFのQ 1 (122 ページ) を参照

『男性でたばこを吸わない方』の割合は 64.2%で、前回に比べて 4.0 ポイント、前々回に比べて 8.3 ポイントほど増加しており、市で設定の目標値 70%から見ても差が 5.8 ポイントにまで縮まってきている。

『女性でたばこを吸わない方』の割合は 75.2%で、前回に比べて 9.1 ポイント、前々回に比べて 8.8 ポイント減少しており、市で設定の目標値 90%から見ると 14.8 ポイント下回っている。

5. たばこ

指標No. 71 「喫煙者で禁煙・節煙の努力をする人の増加」
 (「努力中である」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 努力中である | 101 | 22.3 | 119 | 21.1 | 118 | 19.7 | 60% |

[指標比較結果]

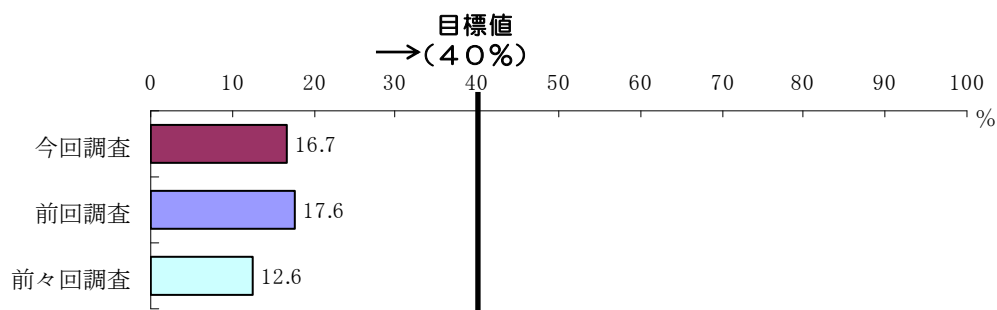
指標 No.71『喫煙者で禁煙・節煙の努力をする人の増加』について見たものである。

※該当する設問はFのSQ1①(126 ページ) 参照

『喫煙者で禁煙・節煙の努力をする方』の割合は22.3%で、前回、前々回に比べてわずかずつ増加しているが、市で設定の目標値60%から見ると1／3程度の割合となっている。

5. たばこ

指標 No. 72 「家庭で子供にたばこの影響について教育する人の増加」
 (「積極的にしている」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 積極的にしている | 76 | 16.7 | 70 | 17.6 | 45 | 12.6 | 40% |

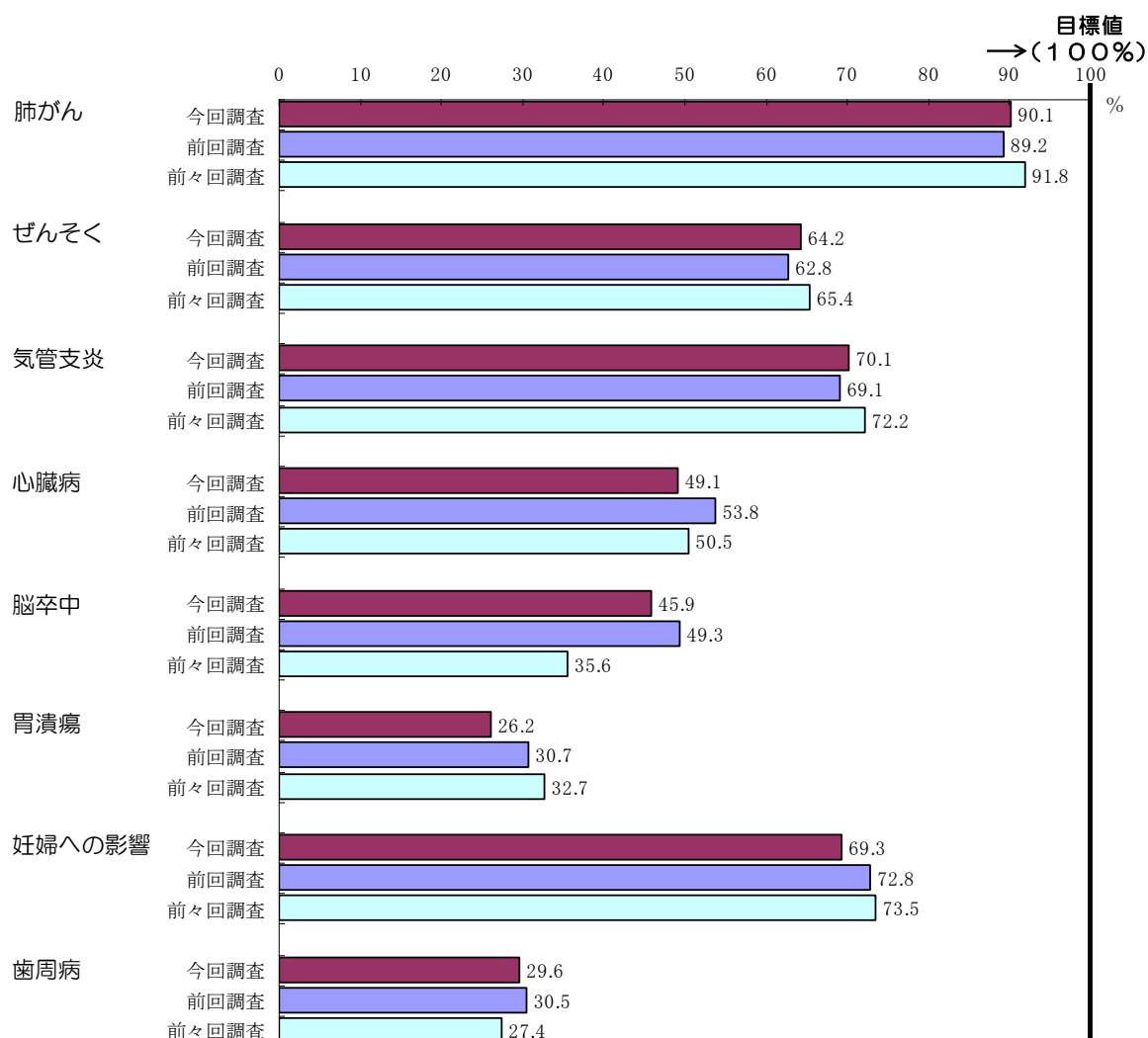
[指標比較結果]

指標 No.72『家庭で子供にたばこの影響について教育する人の増加』を見たものである。
 ※該当の設問はFのQ3（136ページ）を参照

『家庭で子供にたばこの影響について教育する方』の割合は16.7%で、前回に比べてごくわずかながら減少、前々回に比べて4.1ポイント増加しており、市で設定の目標値40%から見ると半分以下となっている。

5. たばこ

指標No. 73 「喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及」
(各項目ともたばこが健康へ及ぼす影響に「あてはまる」と思う人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 肺がん | 2,166 | 90.1 | 2,174 | 89.2 | 2,100 | 91.8 | 100% |
| ぜんそく | 1,544 | 64.2 | 1,530 | 62.8 | 1,497 | 65.4 | 100% |
| 気管支炎 | 1,686 | 70.1 | 1,683 | 69.1 | 1,651 | 72.2 | 100% |
| 心臓病 | 1,181 | 49.1 | 1,310 | 53.8 | 1,155 | 50.5 | 100% |
| 脳卒中 | 1,105 | 45.9 | 1,201 | 49.3 | 814 | 35.6 | 100% |
| 胃潰瘍 | 629 | 26.2 | 749 | 30.7 | 748 | 32.7 | 100% |
| 妊娠への影響 | 1,667 | 69.3 | 1,775 | 72.8 | 1,681 | 73.5 | 100% |
| 歯周病 | 713 | 29.6 | 743 | 30.5 | 627 | 27.4 | 100% |

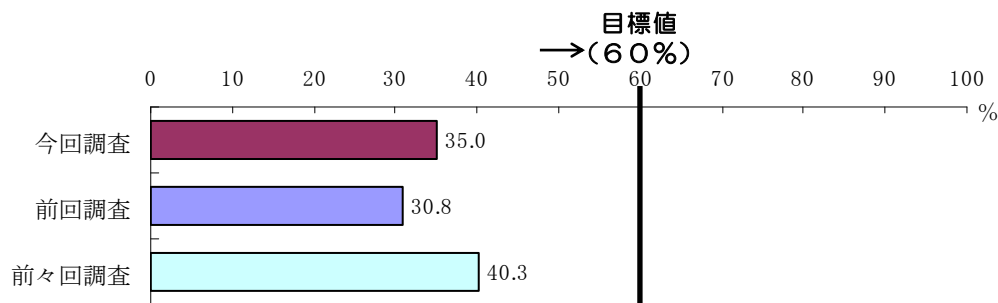
[指標比較結果]

指標 No.73『喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及』を見たものである。
※該当の設問はFのQ2（134 ページ）を参照

前回、前々回とほぼ同じ傾向となっている。

5. たばこ

指標No. 74 「喫煙者で禁煙支援プログラムへの参加意思のある人の増加」
 (「ぜひ利用したい」、「できれば利用したい」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|-----------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| ぜひ利用したい | 29 | 6.4 | 16 | 2.8 | 32 | 5.4 | — |
| できれば利用したい | 129 | 28.5 | 158 | 28.0 | 209 | 34.9 | |
| 合計値 | 158 | 35.0 | 174 | 30.8 | 241 | 40.3 | |
| | | | | | | | 60% |

※前回調査、前々回調査とは選択肢が異なる

(前回、前々回:「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」+前々回:「既に参加している」の有無)

[指標比較結果]

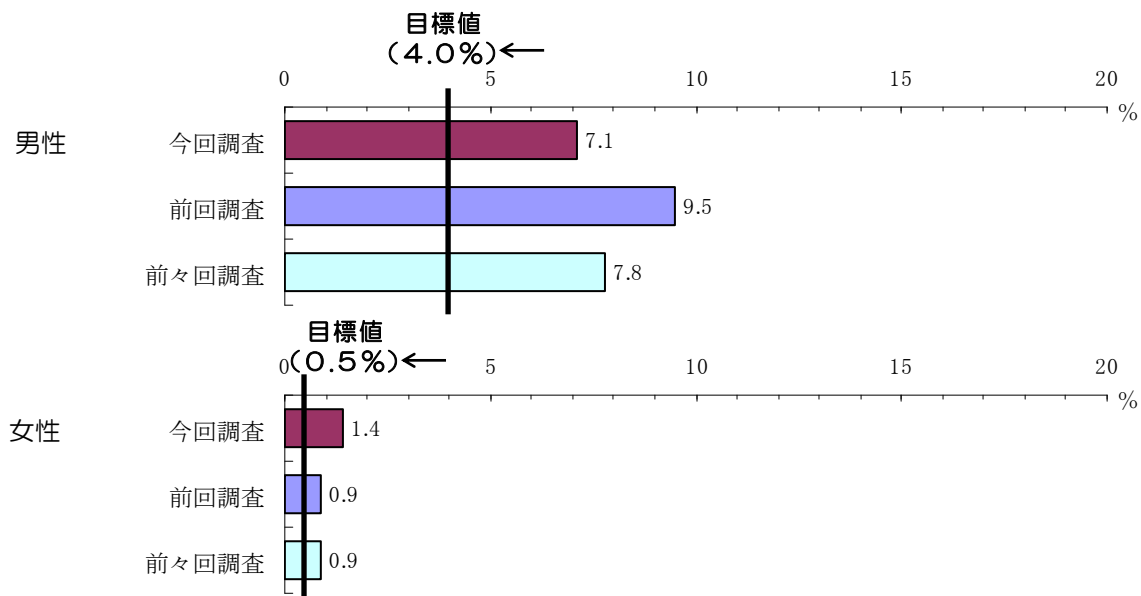
指標 No.74 『喫煙者で禁煙支援プログラムへの参加意思のある人の増加』について見たものである。
 ※該当の設問はFのSQ1③(132ページ)を参照

『喫煙者で禁煙支援プログラムへの参加意思のある方』の割合は35.0%で、前回に比べて4.2ポイント増加、前々回に比べて4.7ポイント減少しているが、市で設定の目標値60%から見ると25.0ポイント下回っている。

6. アルコール

指標 No. 79 「多量に飲酒する人の減少」

(月間飲酒量 81.82 合超の人が全体(非飲酒者含む)に占める割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----|------|-----|------|-----|-------|-----|------|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 男性 | 75 | 7.1 | 98 | 9.5 | 74 | 7.8 | 4.0% |
| 女性 | 19 | 1.4 | 12 | 0.9 | 12 | 0.9 | 0.5% |

[指標比較結果]

指標 No.79『多量に飲酒する人の減少』について見たものである。

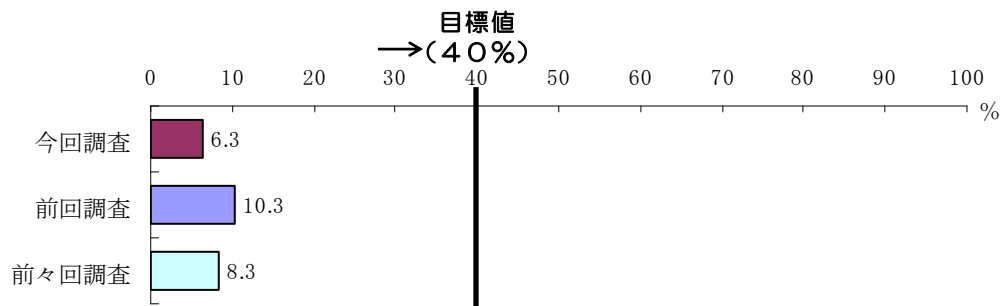
※該当の設問はGのSQ1①(146ページ)を参照

『男性で多量に飲酒する方』の割合は 7.1%で、前回に比べて 2.4 ポイント、前々回に比べてわずかながら減少しているが、市で設定の目標値 4.0%から見ると 3.1 ポイント上回っている。

『女性で多量に飲酒する方』の割合は 1.4%で、前回、前々回に比べて増加しており、目標値を 0.9 ポイント上回っている。

6. アルコール

指標 No. 80 「家庭で子供に飲酒の影響について教育する人の増加」
 (「積極的にしている」人の割合)



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|----------|------|-----|------|------|-------|-----|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 積極的にしている | 31 | 6.3 | 39 | 10.3 | 28 | 8.3 | 40% |

[指標比較結果]

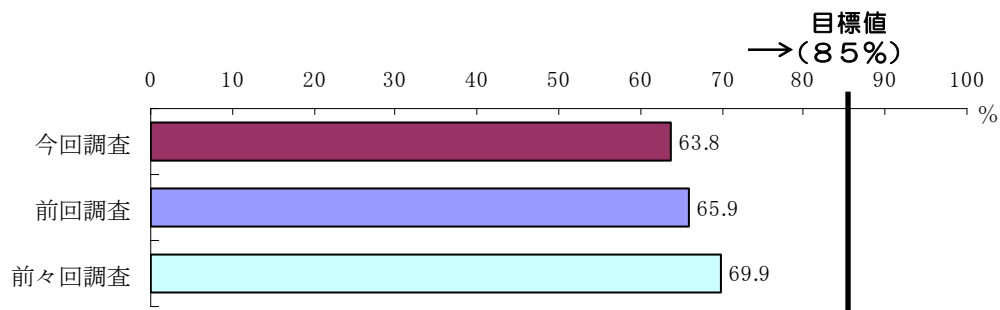
指標 No.80『家庭で子供に飲酒の影響について教育する人の増加』を見たものである。
 ※該当の設問はGのQ2（152 ページ）を参照

『家庭で子供に飲酒の影響について教育する方』の割合は 6.3%で、前回に比べて 4.0 ポイント、前々回に比べて 2.0 ポイント減少しており、市で設定の目標値 40%から見ても遠く及ばない結果となっている。

6. アルコール

指標 No. 81 「適正飲酒量を正しく認識している人の増加」

飲酒者のうち月間飲酒量 27.27 合以内で「適度な飲酒量だと思う」、27.27～81.82 合以内で「少し超えていると思う」、81.82 超で「かなり超えていると思う」人の割合



| 分類 | 今回調査 | | 前回調査 | | 前々回調査 | | 目標値 |
|------------------|------|------|------|------|-------|------|-----|
| | 件数 | % | 件数 | % | 件数 | % | |
| 適正飲酒量を正しく認識している人 | 912 | 63.8 | 931 | 65.9 | 975 | 69.9 | 85% |

[指標比較結果]

指標 No.81『適正飲酒量を正しく認識している人の増加』について見たものである。

※該当の設問はGのSQ1②（150 ページ）を参照

『適正飲酒量を正しく認識している方』の割合は 63.8%で、前回に比べて 2.1 ポイント、前々回に比べて 6.1 ポイント減少しており、市で設定の目標値 85%から見ると 21.2 ポイント下回っている。